

「学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)」導入に向けた情報発信!

【第4号】

「みんなのがっこう」通信

《発行》長万部町教育委員会



あけましておめでとうございます!

今年も「みんなのがっこう」をよろしくお願いたします!

平成28年度 (学校運営協議会制度導入を目指して!)

長万部町「地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)研修会」

11月18日(金)午後4時30分から長万部町多目的活動センター「あつまんべ」にて、長万部町「地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)研修会」が開催され、小中高等学校の先生方をはじめ、町議会議員、町内会、教育関係委員、PTAなど、「コミュニティ・スクールって何だろう?」の興味や疑問を持った49名の皆さんが参加してくださいました。研修のはじめには、多くの皆さんが思っている「コミュニティ・スクール=学校運営協議会制度とは?」をテーマに、北海道教育庁義務教育課の田中賢一主幹から制度の内容や必要性の背景、コミュニティ・スクールに期待される効果について講話をしていただき、「長万部町の子供たちを学校だけが育てるものではなく、地域社会も当事者意識を持って連携・協力して育てほしい」と講話の最後を結びました。

次にニセコ町教育委員会学校教育課の淵野伸隆係長から「コミュニティ・スクール導入に向けた取組」について講話をいただきました。ニセコ町は、長万部町にとってコミュニティ・スクール導入の取り組みを進める「1年上の先輩」になります。ニセコ町の制度導入コンセプトの一つ「学校に負担をかけない」は、本町も制度導入準備を進めるにあたり、意識したことでもあります。ニセコ町の特性を生かした制度導入への工夫点や、導入を進める中で気がついたことなどをお話いただきました。

研修会終了後、数日がたったある日、研修に参加したある町内会から「自分たちのできる範囲だけど、学校に協力したい」という申出があり、早速、長万部小学校冬休み学習サポート「きらめきDay」に三人の方が新たにご協力いただけることとなりました。

主催者としては、とても嬉しいご協力の申出であり、今後も多くの町民の方々がコミュニティ・スクールへの興味や関心を持っていただき、「学校の応援団」を一人でも多くするべく、導入に向けた取り組みを進めてまいります。



道教委 田中主幹による制度説明



ニセコ町 淵野係長による取組事例紹介